

特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議の開催について

令和3年10月21日
初等中等教育局長決定

1. 趣旨

特別支援教育を受ける幼児児童生徒の増加への対応や、インクルーシブ教育システムの理念の構築による共生社会の実現のため、特別支援教育を担う教師の確保や専門性の更なる向上が求められている。

令和3年1月にとりまとめられた「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」の報告においても、全ての教師に特別支援教育に関する基礎的な知識、合理的配慮に対する理解等を求めるとともに、特別支援学級・通級による指導を担当する教師には小学校等における特別支援教育の中心的な役割を担う役割や自立活動や発達障害等に関する専門性や実践力、特別支援学校の教師には障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を十分把握して各教科等や自立活動の指導等に反映できる幅広い知識・技能等が求められている。併せて、概ね全ての特別支援学校の教員が免許状を取得することを目指して取り組むことが必要とされている。

これらのことを踏まえ、特別支援教育を担う教師の養成の在り方等について検討を行うため検討会議を設置する。

2. 検討事項

- (1)特別支援教育を担う質の高い教職員集団の在り方
- (2)特別支援学校教諭免許状及びその教職課程コアカリキュラムの在り方
- (3)その他関連事項

3. 実施方法

- (1)別紙の構成員において、「2. 検討事項」に掲げる事項について検討を行う。
- (2)必要に応じて、ワーキンググループを設置して専門的な検討を行うことができるものとする。
- (3)必要に応じて、別紙以外の関係者にも協力を求めることができるものとする。

4. 期間

令和3年10月25日から令和4年3月31日までとし、その後については必要に応じ延長することとする。

5. その他

- (1)この会議に関する庶務は、総合教育政策局教育人材政策課の協力を得て初等中等教育局特別支援教育課において行う。
- (2)その他会議の運営に関する事項は、必要に応じ会議に諮って定める。

(別紙)

特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議 名簿

安藤 隆男	筑波大学名誉教授
市川 裕二	全国特別支援学校長会会長、東京都立あきる野学園校長
加治佐 哲也	兵庫教育大学長
喜多 好一	全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会会長、江東区立豊洲北小学校統括校長
木船 憲幸	九州産業大学教授
坂越 正樹	広島文化学園大学・短期大学長
田中 良広	帝京平成大学教授
濱田 豊彦	東京学芸大学副学長
樋口 一宗	松本大学教育学部学校教育学科教授
宮崎 英憲	全国特別支援教育推進連盟理事長、東洋大学名誉教授
森 由利子	滋賀県教育次長

(計11名、五十音順、敬称略)

(オブザーバー)

穴戸 和成	国立特別支援教育総合研究所理事長
-------	------------------

(計1名、敬称略)